

言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

言語処理学会事務局:

〒152 東京都目黒区大岡山 2-22-1
東京工業大学 大学院情報理工学研究科
計算工学専攻 田中研究室内
tel: 03-5734-3046 fax: 03-5734-2915
<http://www.crl.go.jp/nlp>

内容:

- 言語処理学会第5回年次大会 (NLP-99)・併設ワークショップのお知らせ
 - 言語処理学会 第5回 年次大会 (NLP-99) プログラム
 - 言語処理学会 第5回 年次大会併設ワークショップのご案内
 - 言語処理学会 第5回 年次大会 参加申込書
 - 言語処理学会 第5回 年次大会 会場案内
- 会誌「自然言語処理」の広告掲載について

- ★ 第5回年次大会は1999年3月15～19日に電気通信大学で開催いたします。
- ★ 第5回年次大会に併設してワークショップ「構文解析－現状の分析と今後の展望－」を開催します。
- ★ 第5回年次大会・併設ワークショップとも**事前登録**の締切りは**2月15日**です。奮ってご参加ください。
- ★ 第5回年次大会関連の情報は <http://apple.ee.uec.ac.jp/nlp-99/> からご覧になれます。

言語処理学会第5回年次大会プログラム

5th Annual Meeting of the Association for Natural Language Processing (NLP-99)

開催日時: 平成 11 年 3 月 15 日 (月) チュートリアル
3 月 16 日 (火) ~ 18 日 (木) 本会議
3 月 19 日 (金) 併設ワークショップ

会場: 電気通信大学 (東京調布市調布ヶ丘 1-5-1)

懇親会: 3 月 16 日 (火) 午後 7 時 00 分~

[チュートリアル]

チュートリアル 1 3 月 15 日 (月) 9:00-12:00

日本語ディクテーション基本技術

伊藤 克亘 (電総研), 山本 幹雄 (筑波大学), 河原 達也 (京都大学)

パソコン上で稼働する音声ディクテーションソフトウェアが開発され、音声分析、音響モデル、形態素解析、統計的言語モデル、連続音声認識アルゴリズムなど、音声認識の基本技術の集大成である不特定話者大語彙連続音声認識技術が身近なものとなってきた。まず、米国と日本を中心に音声ディクテーションシステムの動向を述べる。次に IPA (情報処理振興事業協会) のプロジェクトにおいてフリーソフトウェアとして開発中の日本語ディクテーション基本ソフトウェアを例に、実演をまじえながら、その概要および使い方に関する説明を行う。さらに、統計的言語モデルの構築に関する実践的な解説を行う。

チュートリアル 2 3 月 15 日 (月) 13:00-15:00

インターネットのためのテキスト処理

佐藤 理史 (北陸先端科学技術大学院大学 / さきがけ 21)

インターネットとワールドワイドウェブの爆発的普及は、テキスト処理や自然言語処理に新たな展開の契機をもたらしつつある。現在、膨大かつ多様なテキストが電子的に入手可能であり、効果的に利用されるのを「待っている」状態である。本チュートリアルでは、まず、現在の検索エンジンの中心的実現技術であるキーワード検索をおさらいした後、より高度な検索支援や情報提供サービスを実現するためのテキスト処理技術について述べる。今後必要とされる技術は、情報収集、取捨選択、要約作成、自動分類などの情報の組織化技術であり、これらを要素技術として利用した、情報の自動編集に関する我々の研究についても紹介する。

チュートリアル 3 3 月 15 日 (月) 15:15-17:15

最適性理論

窪菌 晴夫 (神戸大学)

欧米の言語学界で「最適性理論」(Optimality Theory) と呼ばれる理論が注目を集めている。これは言語分析の常識であった「規則」「派生」という概念を否定し、「制約」(constraint) だけで言語現象を記述・説明しようとする理論であり、出発点となった音韻論の枠を越えて、統語論や意味論、社会言語学、心理言語学、歴史言語学の分野にも影響を及ぼしている。本チュートリアルでは、言語現象の背後にある「制約」とはどのようなものであり、制約に基づく新しい言語分析が従来の分析に比べどのような点で優れているのかという問題を中心に最適性理論の基本的な特徴を概観し、この新しい理論が潜在的に抱えている問題点をいくつか指摘してみたい。

[招待講演]

招待講演 1 3 月 16 日 (火) 13:00-14:30

失語症および脳波から言語処理を見る

萩原 裕子 (東京都立大学)

脳と言語の研究で根本的な問題の一つは、頭の中で起こっている言語演算処理の本質を探ることにある。演者は「生成文法理論」を切り口として、失語症や事象関連電位といった脳神経科学で一般に用いられる実験手法を駆使して、「言語表示とその処理の脳内メカニズム」の解明に取り組んできた。本講演では、ごく最近の成果を中心に紹介する。具体的には、文法に際だった障害を示す「失文法ブローカ失語」では、言語の種類を問わず一定の規則的な障害パターンが認められること、語の意味理解に障害をきたす「語義失語」では意味のパターン認識が障害されていること、脳内での統語解析はボトムアップ処理の可能性があること、言語の違いにより文法を処理する脳内基盤が異なることなどを示す。さらに、これらの知見をもとにしてヒト言語計算システムの脳内基盤について総括的に検討したい。

手話の言語的特徴

神田 和幸 (中京大学)

視覚言語である手話には日本語や英語のような音声言語にはない特徴がある一方、人間の自然言語として共通する特徴もある。音声言語は音声で1次的に配列されるため、音から形態素、形態素から語への分節には配列順序が規則化される。さらに統語的關係にも配列順序が関与する。手話は音に相当する要素が空間に提示されるため、同時的配列と逐次的配列が併用される。統語關係にも両者が併用される。この特徴から手話語彙の記号的恣意性は音声言語に比べると写像性が高い。しかし世界の手話を見ると言語ごとの違いははっきりしており、手話は世界共通ではない。記号的能記と所記の關係は一部には写像性があるものの、社会的規約性は高い。これらの特徴を例示し、その言語処理法の実例を示す。

[一般講演 講演発表・ポスター発表・特別セッション]

A1 3月16日(火) 9:20-12:00 機械翻訳 I

A1-1 英日機械翻訳システムにおける派生語推定とその訳語付与の改良

佐田 いち子, 吉見 毅彦, ○九津見 毅, 伊藤 ちなみ, 岡本 純子 (シャープ (株))

A1-2 日本語記事の重要情報に基づく英文ヘッドラインの生成

○畑山 満美子, 松尾 義博, 大山 芳史 (NTT), 白井 諭 (ATR)

A1-3 機械翻訳における自動校正と日中翻訳への適用

○山本 和英 (エイ・ティ・アール 音声翻訳通信研究所)

A1-4 多言語間翻訳情報共有システムの開発

○安藤 真一, 佐藤 研二, 奥村 明俊 (NEC C&C メディア研究所)

A1-5 対訳関係のないコーパスからの複合名詞対訳の獲得

○田中貴秋, 松尾義博 (NTT コミュニケーション科学研究所)

A1-6 スペル補完機能を組み込んだ英文作成支援システムの試作

○酒匂 孝之, 木下 聡 ((株) 東芝 研究開発センター)

A1-7 スクリプトを用いたハイブリッド翻訳処理

○内野 一, 古瀬 蔵, 大山 芳史 (NTT), 白井 諭 (ATR)

A1-8 情態副詞の翻訳

○小倉 健太郎, Francis Bond (NTT)

B1 3月16日(火) 9:20-12:00 認知モデル

B1-1 異文化間翻訳におけるファジィ集合論の応用

○小谷内 郁宏, 佐野 典秀 (静岡産業大学), 角谷 浩亨 ((株) CRC 総合研究所), 高橋 亮一 (静岡産業大学)

B1-2 日本語文における係り受けとマジカルナンバー 7 ± 2

○村田 真樹, 内元 清貴, 馬 青, 井佐原 均 (通信総研)

B1-3 分類カテゴリの因子分解

○星合 忠 ((株) 富士通研究所)

B1-4 アナロジーの統合的モデル

○大石 亨 (北陸先端大)

B1-5 理由文の実質的・認知的読みの認知的分析—視点と接続構造—

○宇野良子 (東京大学)

B1-6 英語の知覚動詞構文の意味分析: 認知意味論と形式意味論の「橋渡し」を目指して

○白井賢一郎 (中京大学)

B1-7 心的語彙の検索速度に影響する要因について (5)

○久野 雅樹 (電気通信大学)

B1-8 言語における鏡像現象

○加藤 弘 (東北大学)

C1 3月16日(火) 9:20-12:00 構文解析

C1-1 助動詞に着目した従属係り受け關係の解析について

○浅野 純平, 池原 悟, 村上 仁一 (鳥取大学)

C1-2 入力文と結合価パターン辞書の照合に関する一手法

白井 諭 (ATR/NTT) , Francis Bond (NTT) , ○野沢 弥生, 佐々木 富子,
上田 洋美 (NTT アドバンステクノロジー)

C1-3 漸進的構文解析における構文構造の動的決定手法

○加藤 芳秀, 松原 茂樹, 外山 勝彦, 稲垣 康善 (名古屋大学)

C1-4 構文構造のグループ化による漸進的チャート解析の高速化

○浅井 悟, 松原 茂樹, 外山 勝彦, 稲垣 康善 (名古屋大学)

C1-5 確率付決定木による言語解析

○柏岡 秀紀, 金城 由美子 (ATR 音声翻訳通信研究所)

C1-6 高速FB-LTAGパーザとその並列化

○吉田 稔, 二宮 崇, 鳥澤 健太郎, 辻井 潤一 (東京大学)

C1-7 テキストコーパスを用いた音声認識誤り訂正手法

○石川 開, 隅田 英一郎 (エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所)

C1-8 日本語学習支援のための診断処理について

○神田 久幸, 馬目 知徳, 掛川 淳一, 長澤 直, 伊丹 誠, 伊藤 紘二 (東京理科大学)

A2 3月16日(火) 14:40-16:40 抽出

A2-1 トランスデューサによる日本語固有表現抽出

○佐々木 裕 (NTT)

A2-2 組織名抽出のための知識収集

○落谷 亮 (富士通研究所)

A2-3 ニュース記事を利用したトピック抽出の検討

○山田 一郎, 金 淵培, 柴田 正啓, 浦谷 則好 (NHK 放送技術研究所)

A2-4 オントロジ主導による情報抽出手法の提案

○廣田 啓一, 佐々木 裕, 加藤 恒昭 (NTT)

A2-5 テキストからの用語とその定義文の抽出

○西野 文人 (富士通研究所) , 橋本 三奈子 (富士通) , 落谷 亮 (富士通研究所)

B2 3月16日(火) 14:40-16:40 タグ付け・表記法

B2-1 固有表現の定義の困難さ - IREX における NE 定義の苦労話 -

関根 聡 (New York University) , ○江里口 善生 ((株) NTT データ)

B2-2 GDA タグ集合の設計と応用

○橋田 浩一 (電子技術総合研究所) , 長尾 確 (ソニーコンピュータサイエンス研究所) ,
内山 将夫 (信州大学) , Christoph J. Neumann (東京工業大学) ,
高橋直人, 田中 久美子 (電子技術総合研究所)

B2-3 生成語彙を用いた日本語辞書における形容詞の取り扱いについて

○橋本 喜代太 (聖和大学・奈良先端科学技術大学院大学) , 松本 裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)

B2-4 自動要約に向けた新聞社説の文書構造タグの定式化

○橋本 喜代太 (聖和大学・奈良先端科学技術大学院大学) , 松本 裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)

B2-5 ローマ字文 (日本式 (訓令式)) における外来語表記法の提案

○藤家 洋昭 (大阪外国語大学) , 竜岡 博 ((財) 日本のローマ字社)

B2-6 構文解析システムを利用したスペイン語品詞体系の設定

○栗林 ゆき絵

C2 3月16日(火) 14:40-16:40 生成・対話システム

C2-1 グラフ情報からのテキスト生成における一考察

○小林 一郎 (法政大学)

C2-2 照応・省略を含む日本語論説文生成

○滑川 裕樹 (東京工業大学) , 乾 健太郎 (九州工業大学) , 徳永 健伸, 田中穂積 (東京工業大学)

C2-3 テキストへの情報ハイディング

○中川 裕志, 小俣 祐介, 松本 勉 (横浜国立大学)

C2-4 実時間談話生成における階層的制御: 盲人ナビゲーションシステム GRACE の例

○田中久美子, 永見武司, 橋田 浩一, 樋口哲也 (電子技術総合研究所)

C2-5 柔軟な話者交代を行う音声対話システム DUG-1

○中野 幹生, 堂坂 浩二, 宮崎 昇, 平沢 純一, 田本 真詞, 川森 雅仁, 川端 豪 (NTT)

C2-6 発話者の意図を推量する協調的対話システム

○武田 紀子 (成蹊大学)

A3 3月16日(火) 16:50-18:30 コーパス

A3-1 テレビニュース原稿の特徴分析

○西脇 正通, 浦谷 則好, 畑田 のぶ子 (NHK放送技術研究所)

A3-2 論理展開の情報を付与した英日対訳コーパスの開発—英文アブストラクト作成支援ツールの構築に向けて—

○成田 真澄 (株)リコー 情報通信研究所

A3-3 誤りを含み得るコーパスからの校正支援用データの整備

○伊吹 潤, 西野 文人 (富士通研究所)

A3-4 新聞記事における日英対応コーパスの自動構築

○高橋大和, 松尾義博, 古瀬蔵 (NTT)

A3-5 マルチリンガル・コーパスの作成

○田中 康仁 (兵庫大学)

B3 3月16日(火) 16:50-18:30 辞書

B3-1 手話単語の手指動作特徴と記述文間の双方向モーションキャプチャ

○安達 久博, 菅野 大, 関谷 正明 (宇都宮大学)

B3-2 Construction of an alternation-based English valency dictionary

Ben Hutchinson (University of New South Wales), ○Francis Bond (NTT),
Timothy Baldwin (東京工業大学)

B3-3 An alternation-based Japanese valency dictionary architecture

○Timothy Baldwin (東京工業大学), Francis Bond (NTT),
Ben Hutchinson (University of New South Wales)

B3-4 日英対訳情報を活用した用言意味属性の自動付与

○中岩 浩巳, 関 嘉代 (NTT)

B3-5 解析と生成のための共起情報の記述方法

○柏野和佳子 (国立国語研)

A4 3月17日(水) 9:20-12:00 分類・他

A4-1 文書クラスタの判別のための特徴表現付与

○小川 知也, 落谷 亮, 西野 文人 (富士通研究所)

A4-2 接続語句・助詞相当句による文章の所属ジャンルの判別—多変量解析法を用いて—

○村田 年 (慶應義塾大学)

A4-3 グラフ的類似度尺度による学術文献の自動分類に関する検討

○相澤 彰子, 影浦 峽 (学術情報センター)

A4-4 文単純化のための文字数圧縮規則

○福島 孝博 (通信・放送機構 (TAO) 渋谷上原リサーチセンター),
江原 暉将 (NHK放送技術研究所 / TAO), 白井 克彦 (早稲田大学 / TAO)

A4-5 ネットワークを用いた複数テキストの要約方式の提案

○豊浦 潤, 津高 新一郎, 瀬尾 和男 (RWCP 情報ベース機能三菱研究室)

A4-6 ネットニュースの記事一覧表示のための自動要約

○中野貴之, 黒橋 禎夫, 中村 順一 (京都大学)

A4-7 ビュー合成によるテキスト情報の可視化

○武田 浩一 (日本アイ・ビー・エム株式会社)

A4-8 分類語彙表に基づいた文章の分類

金 明哲 (札幌学院大学社会情報学部)

S 3月17日(水) 9:20-12:00 特別セッション

S-1 談話構造タグ付け半自動化についての一考察

○竹内 和広 (奈良先端大), 松本 裕治 (奈良先端大)

S-2 非文末上昇イントネーションの現れる言語環境と心理的基盤

○木下 恭子 (京都大学)

S-3 やり取りに基づく会話相互作用の構造にみられる韻律特徴の分析

○小磯 花絵 (国立国語研究所), 伝 康晴 (奈良先端科学技術大学院大学)

S-4 対話コーパスを用いた言い淀みの語の統語論的考察

○土屋 菜穂子 (青山学院大学)

S-5 行為を伴う実対話と伴わない模擬対話の比較

○熊本 忠彦 (通信総研), 伊藤 昭 (山形大)

S-6 確率モデルによる発話の最適分割と意図認識

○田中 英輝, 横尾 昭男 (ATR)

S-7 話しことば対話における協同理解戦略

○堂坂 浩二, 川端 豪 (NTT)

S-8 情報検索を目的とした対話の分析

藤崎 博也, 大野 澄雄, 阿部 賢司, ○飯島 岐勇, 片見 憲次, 鈴木 匡芳 (東京理科大学)

C3 3月17日(水) 9:20-12:00 言語モデル

C3-1 記者原稿を利用したニュース音声認識のための言語モデル

○加藤 直人, 浦谷 則好, 江原 暉将 (NHK放送技術研究所)

C3-2 会話音声認識のための話題別言語モデルの適用

○助則篤志, 樽松明 (電気通信大学)

C3-3 階層構造を持つ属性の組とクラスで与えられる構造規則のクラス分類

○中井 慎司, 池原 悟, 村上 仁一 (鳥取大学)

C3-4 Suffix array を用いた言語モデリング

○伊東 秀夫 ((株)リコー 情報通信研究所),

C3-5 異種の言語知識を利用した品詞判定知識の自動獲得

平川 秀樹, ○吉村 裕美子, 小野 顕司 ((株)東芝 研究開発センター)

C3-6 ニューラルネットを用いた句のベクトル表現

○高橋 直人 (電子技術総合研究所), 本木 実 (九州産業大学)

C3-7 ニューラルネットとルールベース手法を統合した品詞タグづけシステム

○馬 青, 内元 清貴, 村田 真樹, 井佐原 均 (郵政省通信総合研究所)

C3-8 異なる品詞体系に基づいて付与された言語コーパスの品詞タグ情報を再利用する

○脇川 浩和, 乾 健太郎 (九州工業大学)

A5 3月17日(水) 13:00-15:00 検索I

A5-1 目次と質問句との柔軟なマッチングによる図書検索システム

○白木伸征, 黒橋禎夫 (京都大学)

A5-2 情報検索の類似尺度を用いた検索要求文の単語分割

小澤智裕, ○山本幹雄, 山本英子 (筑波大学), 梅村恭司 (豊橋技術科学大学)

A5-3 コンプリメントタームを用いた情報検索

○松本 晃, 田中 穂積, 徳永 健伸 (東京工業大学)

A5-4 分類標数の相互参照に基づく多言語書誌データ検索システム

○河手太土, 藤井 敦, 石川徹也 (図書館情報大学)

A5-5 係り受け情報や語の意味情報を利用した日本語テキスト検索システム

○立石 健二, 峯 恒憲, 雨宮 真人 (九州大学)

P1 3月17日(水) 13:00-15:00 ポスター発表(言語学)

P1-1 「も」の量的解釈をめぐって: 語彙の意味と語用論的解釈

原田康也, ○本多久美子 (早稲田大学), 野口直彦 (松下電器産業)

P1-2 ユーモアを含む言語表現の解釈モデルに関する研究

○江連 三香, 内海 彰 (東京工業大学)

P1-3 会話における裸の文末形式の機能

○福島悦子, 上原 聡 (東北大学)

P1-4 Problems on Connective Expressions in Machine Translation from Japanese into Chinese

○Aihua Liu, Yasuaki Hyoudo, Takashi Ikeda (岐阜大学)

P1-5 中日主題文の構造的差異

○施建 軍 (中国北京日本学研究中心), 中野 洋 (国研)

P1-6 複合名詞語構成要素のための品詞相当カテゴリーに関する予備的考察

○内山 清子, 竹内 孔一, 吉岡 真治, 影浦 峯, 小山照夫 (学術情報センター)

P1-7 T/V 式言語と日本語における二人称代名詞の比較：歴史・社会・対照言語学的アプローチ

○Barke Andrew, 上原 聡 (東北大学)

Q1 3月17日(水) 13:00-15:00 ポスター発表(情報システム)

Q1-1 新聞記事における書き出し文の構文

○乾 裕子 (計量計画研・九工大), 木田 敦子 (計量計画研), 橋本 三奈子 (富士通),
落谷 亮 (富士通研), 西野 文人 (富士通研)

Q1-2 言語横断検索システム Quest

○藤井 敦, 石川 徹也 (図書館情報大学)

Q1-3 帰納的学習を用いた訳語推定手法における単語片対の抽出元の選択数に関する性能評価

○笹岡 久行 (北海学園大学), 荒木 健治 (北海道大学), 桃内 佳雄 (北海学園大学),
栃内 香次 (北海道大学)

Q1-4 句表現要約手法に基づく要約システム

○上田 良寛, 岡 満美子, 小山 剛弘, 宮内 忠信 (富士ゼロックス)

Q1-5 日本語文節解析システムの自動点訳への応用

○兵藤 安昭, 横平 貫志, 池田 尚志 (岐阜大学)

Q1-6 質疑応答文に対する協調融合翻訳の適用検討

○東海林 里仁, 樽松 明 (電気通信大学), 美馬 秀樹, 飯田 仁 (ATR 音声翻訳通信研究所)

Q1-7 翻訳情報の提示によるクロスリンガル情報検索結果からの文書選択

○鈴木 雅実, 井ノ上 直己, 橋本 和夫 (KDD研究所)

Q1-8 農業事例ベースのための農業用語辞書の作成

○大塚 彰 (農林水産省農業研究センター)

A6 3月17日(水) 15:10-17:10 対話

A6-1 知識に基づく音声言語理解システムとしての機器操作インタフェース

○土井 伸一, 長田 誠也, 亀井 真一郎 (NEC C&Cメディア研究所)

A6-2 対話による支援を考慮した未知語の概念推定

○阿部 賢司, 鈴木 匡芳, 飯島 岐勇, 片見 憲次, 大野 澄雄, 藤崎 博也 (東京理科大学)

A6-3 大学における計算機教育環境での対話的ヘルプシステムの作成

○日笠 亘, 古河 雅輝, 黒橋 禎夫 (京都大学)

A6-4 音声対話システムの相槌応答タイミングによるユーザの印象への効果

○平沢 純一, 中野 幹生, 川端 豪 (NTT)

A6-5 「パーソナルエージェント用自然言語インターフェース」開発ツールキット (PANLI toolkit)

○定政 邦彦, 牧野 貴樹, 光石 豊, 鳥澤 健太郎 (東大), 松田 晃一 (ソニー), 辻井 潤一 (東大)

P2 3月17日(水) 15:10-17:10 ポスター発表(コーパス)

P2-1 シソーラス関連性を利用した異文書群の共通SGML文書構造化

○藤岡 孝子 (大日本印刷(株)C&I総合企画開発本部 C&I研究所)

P2-2 修辞学的手法による英語コロケーションの抽出

○佐良木 昌 (純心女子短大/Saraki MT R&D)

P2-3 対訳コーパスからの訳語対抽出における辞書情報の利用について

○辻 慶太, 芳鐘 冬樹 (東京大学), 影浦 峯 (学術情報センター)

P2-4 語彙的側面からみた文章の難易度の判定

○川村 よし子 (東京国際大学)

Q2 3月17日(水) 15:10-17:10 ポスター発表(解析・言語分析)

Q2-1 EDR コーパスを対象とした音声合成システムの誤読評価法

○梅村 祥之, 清水 司, 原田 義久 (豊田中研)

Q2-2 係り受け構造を用いたポーズ位置およびポーズ長の決定

○清水 司, 梅村 祥之, 原田 義久 (豊田中研)

Q2-3 平文談話コーパスからの統語規則の自動獲得：人間の統語処理を考慮して

○渋谷 英潔, 佐山 公一 (小樽商科大学)

Q2-4 コネクションリストモデルによる日本語複文解析モジュールの構築

○本木 実, 土持 勝彦, 嶋津 好生 (九州産業大学工学部)

Q2-5 J-ToBI の対話文への付与と追加タグ基準の検討

○伊賀 竜彦, 斎藤 博昭 (慶應義塾大学)

A7 3月18日(木) 9:20-12:00 機械翻訳 II

A7-1 原言語例文とその対訳に関する質問に基づく意味構造変換ルールの獲得

○秋葉 泰弘 (NTT), 白井 諭 (ATR)

A7-2 Problems in Translating Modal Expressions

○Neumann Christoph (東京工業大学), Francis Bond (NTT コミュニケーション科学研究所)

A7-3 用例利用型翻訳に適した対話用例の自動作成について

○足立 貴行, 高橋 大和, 内野 一, 古瀬 蔵 (NTT)

A7-4 目的言語の単語共起情報を利用した訳語選択と未知語の訳出

○麻野間 直樹, 中岩 浩巳 (NTT)

A7-5 クリソゴン語翻訳システムを目指して - 解析編 -

○高橋 直人 (電子技術総合研究所)

A7-6 中間概念としての認識構造の記述形式

○川辺 諭, 宮崎 正弘 (新潟大)

A7-7 日本語-ウイグル語機械翻訳における単語接続関係を用いたウイグル語文の生成方法

○小川 泰弘 (名大), ムフタル・マフスット (三重大学), 杉野 花津江, 外山 勝彦, 稲垣 康善 (名大)

A7-8 英字新聞記事見出し翻訳の自動前編集による改善

○吉見 毅彦, 佐田 いち子 (シャープ)

B4 3月18日(木) 9:20-12:00 言語分析

B4-1 日本語の後置詞・名詞化辞の交替現象に関する一考察: 有標性と意味の(非)特定性の観点から

○堀江 薫, 渡部 泰門 (東北大学)

B4-2 テ形接続節の接続関係の推定

○大石 亨 (北陸先端大), 松本 裕治 (奈良先端大)

B4-3 「名詞+の」にみられる形容詞類との意味的類似性

○神崎 享子, 村田 真樹, 井佐原 均 (通信総研)

B4-4 抽象名詞「こと」の構造と意味の解析

○車井 登, 池原 悟, 村上 仁一 (鳥取大学)

B4-5 感性評価実験にもとづく終助詞の印象構造の分析

○大熊 智子, 大村 賢悟 (富士ゼロックス(株) 総合研究所)

B4-6 現代韓国語の音韻縮約現象に関する分析

○崔 英淑, 佐藤 滋 (東北大学)

B4-7 日本語における潜在モーラの顕在化に関する研究

○Choi Hyunchoel (東北大学)

C4 3月18日(木) 9:20-12:00 形態素解析

C4-1 決定性文脈を用いた可変長 n-gram モデルによる日本語単語分割

○小田 裕樹, 北 研二 (徳島大)

C4-2 文字ベースのHMMによる複合語単語分割の誤り修正

○池谷 昌紀, 新納 浩幸 (茨城大学)

C4-3 スキップタイプのマルコフ連鎖モデルを用いた日本語文の脱落誤り文字列の検出と訂正法

○橋本 憲久 (福井大学), 池原 悟 (鳥取大学), 荒木 哲郎 (福井大学)

C4-4 文節単位のコストに基づく日本語文節解析システム

○兵藤 安昭, 池田 尚志 (岐阜大学)

C4-5 文節まとめあげと形態素解析の融合

○浅原 正幸, 松本 裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)

C4-6 チャットのための日本語形態素解析

○風間 淳一, 光石 豊, 牧野 貴樹, 鳥澤 健太郎 (東京大), 松田 晃一 (ソニー), 辻井 潤一 (東京大)

C4-7 音声認識を用いたドラマのシナリオへの時刻情報付与

○谷村 正剛, 中川 裕志 (横浜国立大学)

A8 3月18日(木) 14:40-16:40 検索 II

A8-1 ニュース音声データベースの検索システムの試作

○西崎 博光, 中川 聖一 (豊橋技科大)

A8-2 要素の順序関係から見た類似文最適照合検索

○市原 創, 池原 悟, 村上 仁一 (鳥取大学)

A8-3 雰囲気表現を利用するドラマのシーン検索

○三浦健仁, 中川裕志 (横浜国立大学)

A8-4 Adaptive Agent Oriented Software Architecture による分散協調 Web 検索システムの構築

○橋本 順子, Tarek Helmy, Babak Hodjat, 峯 恒憲, 雨宮 真人 (九州大学)

A8-5 複数関連文書の読書支援のための類似度計算手法

○田中 俊一, 岡村 潤, 森 辰則, 中川 裕志 (横浜国立大学)

B5 3月18日(木) 14:40-16:40 解析

B5-1 従属節に関する統計的情報と一般的統語規則を統合した日本語構文解析システム

○河原 大輔, 黒橋 禎夫 (京都大学)

B5-2 日本語の多義的な並列名詞句の解析

○山中 信彦 (埼玉大学)

B5-3 日本語長文における読点の役割分析

○藪 正樹, 宮崎 正弘 (新潟大)

B5-4 大規模コーパスを用いた日本語従属節パターン抽出

○高橋 博之, 宮崎 正弘 (新潟大)

B5-5 曖昧な数量詞を含む名詞句の解析法

○横山 晶一, 落合 武 (山形大学)

C5 3月18日(木) 14:40-16:40 意味・文脈解析

C5-1 Using Multiple Knowledge Sources for Word Sense Identification

○呉 浩東 (Haodong Wu), 古郡 廷治 (電気通信大学)

C5-2 Corpus-based Resolution of Pronominal References

○Michael Paul, 山本 和英, 隅田 英一郎 (エイ・ティ・アール 音声翻訳通信研究所)

C5-3 中国語文内照応解析のための規則ベースの構築

○于 素秋, 横山晶一, 西原典孝 (山形大学)

C5-4 Experimenting With Analogy

○Yves LEPAGE (ATR)

C5-5 新聞記事における顔領域と名前との自動対応づけ

○山田 剛一, 杉山 一成, 与那嶺 靖典, 中川 裕志 (横浜国立大学)

【大会参加申込】

大会の参加申し込みは、最後に添付の申し込み用紙(チュートリアル, 大会, ワークショップ兼用)を利用して、以下にお送り下さい。

送付先: 〒565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里LCビル 14F
学会センター関西内 言語処理学会年次大会係
fax: 06-6873-2300
email: o-socie@bcasj.or.jp

【参加費】

大会	2月15日まで	それ以降	会場
会員:	4,000円	6,000円	6,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員:	2,000円	3,000円	3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員:	6,000円	9,000円	9,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員:	3,000円	4,000円	4,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ:	5,000円	5,000円	3,000円 (会場での当日販売は送料含まず)

チュートリアル	2月15日まで	それ以降	会場
会員:	3,000円	5,000円	5,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員:	1,500円	2,000円	2,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員:	5,000円	8,000円	8,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員:	2,000円	3,000円	3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ:	4,000円	4,000円	3,000円 (会場での当日販売は送料含まず)

懇親会(なるべく事前申し込みをお願いします)			
一般:	4,000円	4,000円	4,000円
学生:	2,000円	2,000円	2,000円

送金先:

銀行振込 三和銀行
千里中央支店
普通預金口座 5243431
口座名義 言語処理学会大会 代表 田中 穂積

郵便振替 番号 00920-1-22357
名称 (財)日本学会事務センター大阪事務所

送金は大会1週間前の3月8日(月)までをお願いします。それ以降は、大会当日をお願いします。詳細は、言語処理学会第5回年次大会参加申込書をご覧ください。

プログラム委員会

委員長: 島津 明(北陸先端大)
乾 健太郎(九工大) 井佐原 均(通信総研) 大石 亨(北陸先端大) 荻野綱男(東京都立大)
奥村 学(北陸先端大) 神門典子(学情) 樽松 明(電通大) 郡司隆男(大阪大)
佐藤 滋(東北大) 竹澤寿幸(ATR) 田窪行則(九州大) 中野 洋(国語研)
橋田浩一(電総研) 丸山直子(東京女子大)

実行委員会

委員長: 樽松 明(電通大)
浦谷則好(NHK) 尾関和彦(電通大) 金子正秀(電通大) 久野雅樹(電通大)
田野俊一(電通大) 長井隆行(電通大) 橋本清(電通大) 古郡廷治(電通大)

言語処理学会第5回年次大会 併設ワークショップのご案内

以下の要領で表記のワークショップを開催いたしますので、ふるってご参加ください。

日時・会場

開催日時： 1997年3月19日(金) 10時から18時

会場： 電気通信大学

ワークショップの名称： 「構文解析 -現状の分析と今後の展望-」

開催趣旨

形態素解析が一応の実用レベルに達しつつある現在、構文解析の精度向上が、これからの実用自然言語処理にとって、重要な課題となっている。この分野は、古くから、さまざまな手法が提案され、特に近年は、統計的な手法が多く試みられてきた。しかし、なかなか高い精度が得られないのが現状である。本ワークショップは、構文解析のこれまでの進展を踏まえて、今後の展望を得ることを目的とする。以下のテーマなどについて発表と議論を行なう予定である。

- 規則方式の新展開はあるのか
- 統計方式の限界は克服できるか
- 実用を目指したロバストな構文解析
- 応用から見た構文解析への要求条件
- 現状を打開する新しい考え方
- 構文解析に必要な情報は何か、使える情報は何か

提案者

田中穂積	東京工業大学	古郡廷治	電気通信大学
池田尚志	岐阜大学	池原悟	鳥取大学
乾健太郎	九州工業大学	亀田雅之	リコー
柏岡秀紀	A T R	黒橋禎夫	京都大学
宮崎正弘	新潟大学	中川裕志	横浜国立大学
尾関和彦	電気通信大学	下畑さより	沖電気
新納浩幸	茨城大学	白井清昭	東京工業大学
富浦洋一	九州大学	鳥澤健太郎	東京大学
宇津呂武仁	奈良先端科学技術大学院大学	吉村賢治	福岡大学
江原暉将	N H K		

ワークショップ発表申し込みについて

できるだけ事前参加申込をして下さい。

【事前参加申し込みの締め切り】

1999年2月15日

【事前参加申し込みの参加費】

会員	3,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員	1,500 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員	5,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員	2,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ購入	4,000 円	

【当日申し込みの参加費】

会員	5,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員	2,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員	8,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員	3,000 円	(それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ購入	4,000 円	

参加事前申し込みは、別紙参加申込用紙に記入の上、(できれば、電子メールで)以下にお送り下さい。

【参加申し込み先】

〒565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里LCビル 14F
学会センター関西内 言語処理学会年次大会係
fax: 06-6873-2300
email: o-socie@bcasj.or.jp

言語処理学会 第 5 回 年次大会併設ワークショップ 「構文解析 –現状の分析と今後の展望–」プログラム

セッション 1 解析アルゴリズム 1 座長 乾 健太郎 (九州工業大学)

- 10.00–10.20 文脈自由文法の制約と異なるレベルの接続制約を同時に用いた GLR ベースの構文解析法
田中 穂積、○今井 宏樹、白井 清昭 (東京工業大学)
- 10.20–10.40 最小コスト分割問題としての係り受け解析
○尾関 和彦、張 玉潔 (電気通信大学)
- 10.40–11.00 確率文脈自由文法を用いた信頼度付き統語的曖昧さ解消法
○冨浦 洋一、日高 達 (九州大学)
- 11.00–11.20 あいまいさを許すロバストな係り受け解析システム
○兵藤 安昭、若田 光敏、池田 尚志 (岐阜大学)
- 11.20–12.00 ディスカッション

(休憩)

セッション 2 解析アルゴリズム 2 座長 黒橋 禎夫 (京都大学)

- 13.00–13.20 平文談話コーパスからの統語規則の自動獲得：人間の統語処理を考慮して
○渋谷 英潔、佐山 公一 (小樽商科大学)
- 13.20–13.40 統計的部分構文解析器のふるまいについて
○乾 孝司、木村 啓、乾 健太郎 (九州工業大学)
- 13.40–14.00 日本語係り受け解析に用いる ME モデルと解析精度
○内元 清貴、村田 真樹 (通信総研)、関根 聡 (ニューヨーク大学)、井佐原 均 (通信総研)
- 14.00–14.20 コンパイルーションとメモを用いたデータフロー型制約変換としての統語解析
○橋田 浩一 (電子技術総合研究所)、宮田 高志 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 14.20–15.00 ディスカッション

(休憩)

セッション 3 コーパス・統計 座長 橋田 浩一 (電子技術総合研究所)

- 15.30–15.50 構文情報付きテキストコーパスの作成と構文解析システムの改良
○黒橋 禎夫 (京都大学)
- 15.50–16.10 形態素・構文解析の曖昧性解消に対する種々の統計情報の貢献度に関する考察
○白井 清昭、徳永 健伸、田中 穂積 (東京工業大学)
- 16.10–16.30 語の共起確率に基づく統計的部分解析と冗長解析
○藤尾 正和、松本 裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 16.30–16.50 コーパスからの日本語従属節係り受け選好情報の抽出および文係り受け解析における評価
○宇津呂 武仁、藤尾 正和 (奈良先端科学技術大学院大学)、西岡山 滋之 (大阪大学)、松本 裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 16.50–17.10 語彙的共起情報を利用した係り受け解析
○江原 暉将 (NHK)
- 17.10–18.00 ディスカッション

言語処理学会 第 5 回 年次大会

参加申し込み書

送付先: 〒 565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里 LC ビル 14F
学会センター関西内 言語処理学会年次大会係
fax: 06-6873-2300
e-mail: o-socie@bcasj.or.jp

この申込書は大会・チュートリアル・ワークショップ参加者と参加費の入金を正確に把握するためのものです。
正確にご記入のうえ送付ください。

大会参加費:

会員:	4,000/	6,000円	×	件
学生会員:	2,000/	3,000円	×	件
非会員:	6,000/	9,000円	×	件
学生非会員:	3,000/	4,000円	×	件
予稿集:		5,000円	×	件

参加者 01:

所属 01:

参加種別 01: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 02:

所属 02:

参加種別 02: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 03:

所属 03:

参加種別 03: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

チュートリアル参加費:

会員:	3,000/	5,000円	×	件
学生会員:	1,500/	2,000円	×	件
非会員:	5,000/	8,000円	×	件
学生非会員:	2,000/	3,000円	×	件
予稿集:		4,000円	×	件

参加者 51:

所属 51:

参加種別 51: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 52:

所属 52:

参加種別 52: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 53:

所属 53:

参加種別 53: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

懇親会参加費:

一般: 4,000円 × 件
学生: 2,000円 × 件

参加者 61:

所属 61:

参加種別 61: 一般 学生

参加者 62:

所属 62:

参加種別 62: 一般 学生

参加者 63:

所属 63:

参加種別 63: 一般 学生

ワークショップ参加費:

会員: 3,000円 × 件
学生会員: 1,500円 × 件
非会員: 5,000円 × 件
学生非会員: 2,000円 × 件
予稿集: 4,000円 × 件

参加者 51:

所属 81:

参加種別 81: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 82:

所属 82:

参加種別 82: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

参加者 83:

所属 83:

参加種別 83: 会員 学生会員 非会員 学生非会員

合計金額: 円

送金方法:

銀行振込 三和銀行
千里中央支店
普通預金口座 5243431
口座名義 言語処理学会大会 代表 田中 穂積

郵便振替 番号 00920-1-22357
名称 (財)日本学会事務センター大阪事務所

送金年月日: 年 月 日

送金人名義:

通信欄:

連絡先:

住所: 〒

所属:

氏名:

tel:

fax:

e-mail:

注1) 参加者が3名以上の場合は、上記と同様に番号を追加してください。

注2) 送金方法はどちらか一方を記入してください。

注3) 手数料は各自ご負担ください。

注4) 送金は大会1週間前の3月8日(月)までをお願いします。それ以降は、大会当日をお願いします。

言語処理学会 第 5 回 年次大会の会場案内

会場: 電気通信大学 (東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1)

Tel: 0424-83-2161 (代表)

受付: 西 9 号館 1 階 ロビー

(1) チュートリアル

西 9 号館 1 階 -135 教室

(2) 招待講演

西 9 号館 1 階 -135 教室

(3) 大会

A(一般講演) 西 9 号館 1 階 -135 教室

B(一般講演) 西 8 号館 1 階 -132 教室

C(一般講演) 西 8 号館 1 階 -131 教室

P(ポスター) 西 2 号館 1 階 -105 教室

Q(ポスター) 西 2 号館 1 階 -106 教室

S(特別セッション) 西 8 号館 1 階 -132 教室

懇親会 東地区大学会館 2 階食堂

(4) 併設ワークショップ

西 9 号館 1 階 -135 教室

会場へのアクセス方法は以下の通りです。

京王線：新宿駅 → 調布駅で下車 (特急・急行約 20 分)

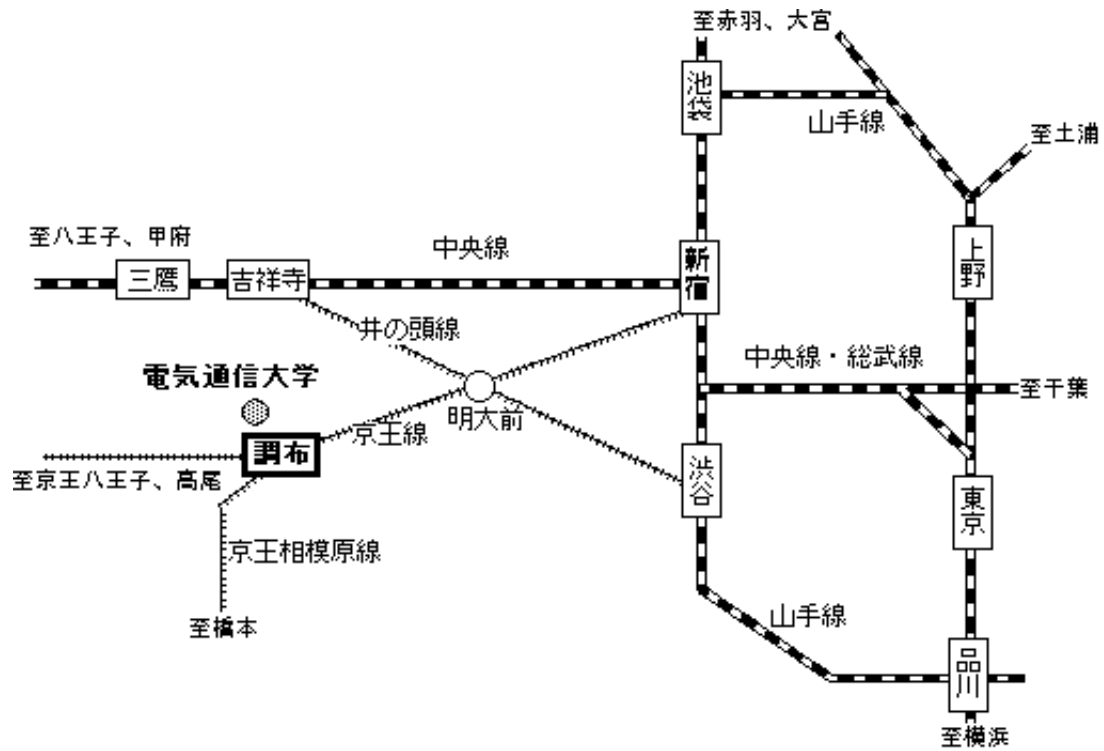
調布駅北口下車徒歩 7 分

また、以下のページ

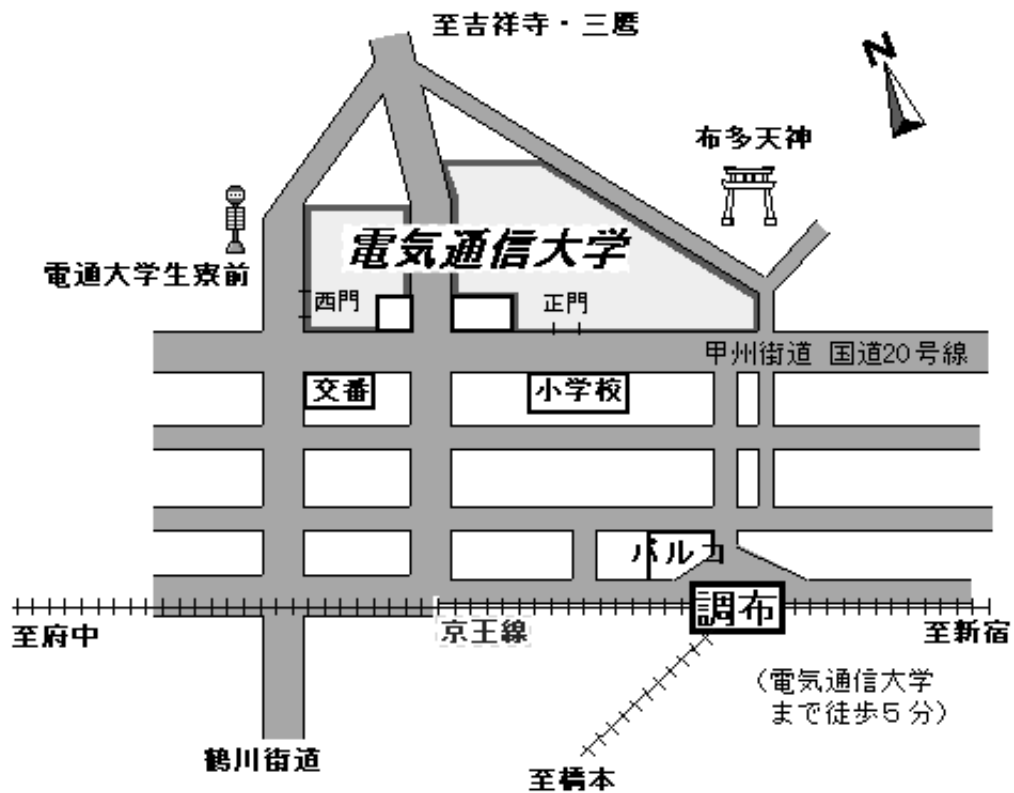
<http://apple.ee.uec.ac.jp/nlp-99/map.html>

に電気通信大学への交通案内・地図があります。またキャンパスの地図 (TIFF) も入手できます。

[路線図]



[調布駅から電通大まで]



会誌「自然言語処理」の広告掲載について

「自然言語処理」では、会員の皆様の学術研究上の目的に有用な商品やサービスに関する広告を掲載することになりました。広告掲載料は下記の通りです。

表表紙の裏: 50,000 円

裏表紙の裏: 40,000 円

その他の頁: 30,000 円

これは1号の1ページ当たりの値段で、半ページの場合は各半額です。また、広告主が賛助会員の場合は各ページ当たり20,000円を割り引きます。広告はモノクロに限り、掲載に当たっては完全な版下を提出していただきます。広告掲載に関するご連絡は下記までお寄せ下さい。

〒305-8568 つくば市梅園1-1-4

電子技術総合研究所 知能情報部

橋田 浩一 (言語処理学会渉外担当理事)

e-mail: hasida@etl.go.jp

fax: 0298-54-5930

問い合わせ先:

学会に関する問い合わせは「学会センター関西」をお願いします。

〒565-0082 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル14F

学会センター関西 (担当: 山元 理恵)

tel: (06)6873-2301

fax: (06)6873-2300

email: o-socie@bcasj.or.jp

【 ニュースレター担当: 片桐恭弘

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2-2

ATR 知能映像通信研究所

fax: 0774-95-1408

e-mail: katagiri@mic.atr.co.jp

】